

**2010年1月1日から9月30日、および第3四半期の業績発表**

2010年11月18日

**好業績を持続 - 2010年は記録的な収益達成の見通し**

- 最初の9ヶ月間に純利益がほぼ4倍に
- 化学部門が収益の新記録を計上
- キャッシュフローが増加し、純金融負債がさらに減少
- 更なる成長に向け、投資を継続

内藤 吾朗  
コミュニケーションズ  
T +81-3-5323-7391  
F +81-3-5323-7399  
goro.naito@evonik.com

エボニック インダストリーズ(本社:ドイツ・エッセン)は、去る11月15日に2010年第3四半期および1-9月の業績発表をおこない、取締役会会長のクラウス・エンゲルは、「第3四半期は好調が持続しており、最初の9ヶ月間は素晴らしい結果が出ています。大変満足できる業績です」とコメントしました。特に化学部門は、世界的な需要の伸び、設備稼働率の実質的改善、効率を高めるための効果的な対策が功を奏し、収益が大幅に増加しました。エンゲルはまた、「1月からの9ヶ月間が経過した時点で、化学部門の収益は新記録を達成する勢いです」と話しています。エネルギー部門の収益もかなり改善しています。

エボニック グループは第4四半期も好調な業績動向が持続すると予想しており、2010年全体の詳細な見通しを発表しました。エンゲルは「売上の伸びが20%を超える、素晴らしい結果が予想されます」と話しています。また、エボニックは長期的な成長路線を確実にするため、戦略的に重要なプロジェクトの立ち上げをおこないました。例えば、シンガポールでの飼料添加剤向けのメチオニン生産施設の建設計画や、アジアとヨーロッパのタイヤ、飼料、食品、コーティング、着色剤セクター向けの沈降シリカの生産能力の拡大などが挙げられます。エボニックはいずれの事業においてもグローバルなマーケットリーダーに数えられていますが、成長市場において個別に事業の強化を図る所存です。

2010年1-9月の好調な業績動向により、前年同期と比べて売上やすべての収益に関する数字が大幅に増加しました。グループの**売上**は24%増の118億8,700万ユーロを計上しました(前年同期95億9,000万ユーロ)。金利・税金・償却前利益(EBITDA)は2010年9月までに55%増加し、22億7,600万ユーロに(前年同期14億6,800万ユーロ)。またEBITDAマージンは19.1%で前年同期の15.3%を大きく上回りました。一方、金利税引前利益(EBIT)は、需要の大幅な伸びとマージンの改善に支えられ、93%増の16億8,900万ユーロを計上しました(前年同期8億7,300万ユーロ)。化学を中心とする全3部門がこの増加に貢献しています。

**エボニック デグサ ジャパン  
株式会社**  
〒163-0938  
東京都新宿区西新宿 2-3-1  
新宿モリス 12F

[www.evonik.jp](http://www.evonik.jp)

**営業外損益**の1億6,500万ユーロは、主に英国での年金支出と「On Track」効率改善プログラムから構成されています。**所得税前収益(継続事業)**は11億1,800万ユーロとなりました。これは前年比7億4,500万ユーロ増(199%)です。エボニックグループ全体の**純利益**は2010年の最初の9ヶ月間にほぼ4倍増の7億9,000万ユーロに達しました(前年同期2億1,100万ユーロ)。

2010年9月までの営業成績の大幅な伸びにより、営業活動による**キャッシュフロー**が大幅増の13億6,000万ユーロとなりました。これはビジネスが著しく好転した結果、正味運転資本が増加したにも関わらず、良好であった前年同期と比べて1億100万ユーロ上回っています。設備投資は4億7,900万ユーロを計上しました。半導体分野向けの主な超高純度製品を製造するパイロットプラントは、ドイツのラインフェルデンで無事に稼働を開始しており、増産の準備が進められています。中国の南寧では、薬剤有効成分の新しい生産施設が操業を開始しました。また上海では、製薬産業向けの貴金属粉末触媒および精製化学品と工業化学品の新しい生産施設が稼働を始めました。エボニックはキャッシュフローを投資への資金供給に活用しており、2009年度には3億2,000万ユーロの配当金を支払い、純負債を大きく減少させました。**純金融負債**は2009年末から4億400万ユーロ減の30億2,700万ユーロとなり、2009年初頭と比べて15億5,600万ユーロ減となっています。

### グループの第3四半期業績は前年から大幅改善

2010年上半期の好調な業績動向は、第3四半期も衰えを見せず堅持されています。**グループの売上**は、世界的な需要の伸びに後押しされ、前年比24%増の40億8,800万ユーロを計上しました(前年同期33億900万ユーロ)。**EBITDA**は18%増の7億4,400万ユーロとなりました(前年同期6億2,900万ユーロ)。**EBIT**は3部門すべての収益増の結果として、26%増の5億4,100万ユーロでした(前年同期4億3,000万ユーロ)。**純利益**は55%増の2億6,000万ユーロを計上しました(前年同期1億6,800万ユーロ)。

### 全3部門が2010年9月までに業績改善

**化学部門**は年初来の9ヶ月間に飛躍的な成長を遂げました。値上がりする原材料費を顧客に転嫁することができたことなどにより、販売数の大幅増加(18ポイント)および販売価格の上昇(10ポイント)を実現、**売上**は31%増の95億9,300万ユーロを計上しました(前年同期73億1,600万ユーロ)。また**EBITDA**は7億700万ユーロ増の18億7,400万ユーロとなり(前年同期11億6,700万ユーロ)、**EBIT**は売上高の増加、設備稼働率の改善、マージンの改善に後押しされて、7億1,000万ユーロ増の14億

エボニック デグサ ジャパン  
株式会社  
〒163-0938  
東京都新宿区西新宿 2-3-1  
新宿モリス 12F

[www.evonik.jp](http://www.evonik.jp)

ユーロを計上しました(前年同期 6 億 9,000 万ユーロ)。化学部門ではすべてのビジネスユニットの収益が前年比大幅増となりました。

**エネルギー部門**も前年と比較して業績が著しく改善しました。**売上**は生産高の増加と石炭価格の値上がりに支えられて、この 9 ヶ月間に 7%増の 19 億 7,700 万ユーロとなりました(前年同期 18 億 4,900 万ユーロ)。**EBITDA** は 1 億 2,400 万ユーロ増の 3 億 8,900 万ユーロとなりました(前年同期 2 億 6,500 万ユーロ)。**EBIT** は 1 億 2,800 万ユーロ増の 3 億 2,600 万ユーロを計上しました(前年同期 1 億 9,800 万ユーロ)。これはドイツ国内および国外の火力発電所の収益増に加え、2009 年 1-9 月に単発要因により抑制された石炭取引の回復に支えられています。

**不動産部門**は、最初の 9 ヶ月間の**売上**が前年比ほぼ横ばいの 2 億 8,000 万ユーロを計上しました(前年同期 2 億 7,900 万ユーロ)。**EBITDA** は前年同期比 500 万ユーロ増の 1 億 3,800 万ユーロでした。**EBIT** は主に不動産管理が有利に展開したため、前年同期 500 万ユーロ増の 1 億 300 万ユーロを計上しました(前年同期 1 億 9,800 万ユーロ)。

#### 展望—2010 年度は素晴らしい業績見通し

今後の季節変動要因は、好業績が報告された第 1-3 四半期に匹敵するものではありませんが、エボニック グループは第 4 四半期も好調な業績動向が持続するとみています。

総体的にみると、2010 年度は素晴らしい業績が計上される見通しです。世界的な高需要の持続のおかげで、年間を通じて売上が 20%以上成長することが期待されます。EBITDA と EBIT は前年を大幅に上回る見込みです。エボニック グループは特に化学部門が飛躍的に成長し、EBIT の新記録が達成されると予測しています。

エボニック デグサ ジャパン  
株式会社  
〒163-0938  
東京都新宿区西新宿 2-3-1  
新宿モリス 12F

[www.evonik.jp](http://www.evonik.jp)

**エボニック グループの損益計算書の抜粋**

(単位 100 万ユーロ)	2010 年 第 3 四半期	2009 年 第 3 四半期	変動 (%)	2010 年 9M	2009 年 9M	変動 (%)
売上	4,088	3,309	24	11,887	9,590	24
金利・税金・償却前利益 (EBITDA)	744	629	18	2,276	1,468	55
金利税引前利益(EBIT)	<b>541</b>	<b>430</b>	<b>26</b>	<b>1,689</b>	<b>873</b>	<b>93</b>
営業外損益(継続事業)	-22	-97		-165	-138	
金融収支	-157	-115		-406	-362	
<b>= 所得税前収益(継続事業)</b>	<b>362</b>	<b>218</b>	<b>66</b>	<b>1,118</b>	<b>373</b>	<b>199</b>
所得税前収益(非継続事業)	2	0		-2	-5	
<b>= 所得税前収益(合計)</b>	<b>364</b>	<b>218</b>	<b>67</b>	<b>1,116</b>	<b>368</b>	<b>203</b>
所得税	-91	-29		-280	-107	
<b>= 税引後所得</b>	<b>273</b>	<b>189</b>	<b>44</b>	<b>836</b>	<b>261</b>	<b>220</b>
少数株主持分	13	21		46	50	
<b>= 純利益</b>	<b>260</b>	<b>168</b>	<b>55</b>	<b>790</b>	<b>211</b>	<b>275</b>

エボニック デグサ ジャパン  
株式会社  
〒163-0938  
東京都新宿区西新宿 2-3-1  
新宿モリス 12F

www.evonik.jp

## 事業分野別の業績

	売上			EBITDA		
	2010年 第3四半期 (100万ユーロ)	2009年 第3四半期 (100万ユーロ)	変動 (%)	2010年 第3四半期 (100万ユーロ)	2009年 第3四半期 (100万ユーロ)	変動 (%)
化学	3,318	2,643	26	638	519	23
エネルギー	654	510	28	108	86	26
不動産	102	95	7	47	49	-3
その他	14	61	-77	-49	-25	-96
<b>合計</b>	<b>4,088</b>	<b>3,309</b>	<b>24</b>	<b>744</b>	<b>629</b>	<b>18</b>
	売上			EBITDA		
	2010年9M (100万ユーロ)	2009年9M (100万ユーロ)	変動 (%)	2010年9M (100万ユーロ)	2009年9M (100万ユーロ)	変動 (%)
化学	9,593	7,316	31	1,874	1,167	61
エネルギー	1,977	1,849	7	389	265	47
不動産	280	279	1	138	133	4
その他	37	146	-75	-125	-97	-29
<b>合計</b>	<b>11,887</b>	<b>9,590</b>	<b>24</b>	<b>2,276</b>	<b>1,468</b>	<b>55</b>

## エボニック グループの事業別の社員数

	2010年9月30日	2009年12月31日
化学	31,052	30,318
エネルギー	4,896	4,820
不動産	475	479
その他	2,922	3,064
<b>エボニックグループ全体</b>	<b>39,345</b>	<b>38,681</b>

## エボニック インダストリーズについて

エボニック インダストリーズはドイツのクリエイティブな産業グループです。私たちのコアビジネスであるスペシャルティケミカルでは世界的リーダーとなっています。またエボニックは無煙炭や再生可能エネルギーによる発電事業のエキスパートであり、ドイツでは最も大きな個人向け民間不動産会社のひとつです。私たちの業績は創造性・専門性・自己革新力・信頼性によって作り上げられています。

エボニック インダストリーズは世界100ヶ国以上で活動しており、2009年度は39,000人の社員を有し、総売上高は131億ユーロ、EBITDA(金利・税金・償却前利益)は20億ユーロを計上しました。

## 免責事項

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AGはこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。

**エボニック デグサ ジャパン  
株式会社**  
〒163-0938  
東京都新宿区西新宿 2-3-1  
新宿モノリス 12F

www.evonik.jp

(このプレスリリースは2010年8月11日にドイツで発表されたものの翻訳版です)